

すみだ北斎美術館建設工事に関する経過について  
墨田区長による第2回地元説明会（2014/06/19）の記録

平成26年6月30日  
記録 富岡達郎

- ◆日時：平成26年6月19日（木）19:00～20:30
- ◆場所：亀沢2丁目会館
- ◆進行：富岡達郎（北斎通りまちづくりの会）
- ◆出席：亀一：吉兼剛光 田中三男 間瀬時重 宮下友良  
林直樹  
亀二：高城一義  
亀三：本間和義 行方輝治 渋井勇 小川裕行  
亀四：飯沼清 榎本泰治 今井良輔 岸成行  
北斎通りまちづくりの会：小林俊介 小林京子 岡本雅義 安斎好子 藤田紘子  
今井健 堀均 安斎好子 村上美奈子 堀川顕彦 富岡達郎  
墨田区長：山崎昇  
墨田区区民活動推進部参事：鹿島田和宏  
墨田区文化振興課：和田幸恵 斉藤重明 松丸恵輔  
墨田区営繕課：萩原和富



（敬称略）

（進行から）

本日はお忙しいなかお集りいただき、ありがとうございます。今回は昨年の10月に引き続き2回目の北斎美術館に関する説明会となります。前回と同様、区長からのご説明の後、意見交換の場があると思いますが、発言の際にお名前及び町会・所属を伝えていただけますか。また、山崎区長はこの後ご予定があるということで、途中での退席となりますことをご了承ください。まずは開会の挨拶を、北斎通りまちづくりの会小林会長からお願いします。

（北斎通りまちづくりの会 小林会長より開会の挨拶）

本日は山崎区長をはじめ区の職員の皆様、また地域の皆様にはご多忙のなかお越しいただき、ありがとうございます。5月に美術館の入札が行われ、大林組と東武谷内田建設が落札しました。順調に行けば6月の区議会にて議決がなされ、7月より着工となります。北斎美術館は今後マスコミ等で観光の目玉として取り上げられていくのではないかと思います。今回、着工の目処が立ちつつあるので、10月に行われる北斎祭りと合わせて、地元亀沢を盛り上げていきたいです。今日は皆さんから色々な話がでるのではないかと思います。まずは山崎区長より、お話をさせていただきます。

（山崎区長より挨拶及び説明）

ありがとうございます。北斎美術館の件でご心配をおかけしましたが、皆様のおかげでここまでまいりました。

北斎美術館は昨年入札が行われましたが、震災の影響や建築需要増による建設コストの上昇で、応

札業者が現れず入札が不調になりました。改めて予算を増額し再入札をしようとしたところ、敷地地中より大きなコンクリートの塊や土壌汚染が見つかったため、それらの対応を行うため入札及び工事を延期する事になりました。その後、事業計画について大きく3点を見直しました。

一つは工事費の圧縮についてです。

北斎美術館は工事費の7割ほどが国や都の補助金でまかなわれておりますが、補助金に期限があり基本的には平成27年度中に竣工しなければならないため、設計全体を見直す時間はありませんでしたが、設計者と協議のうえ内装工事等について見直しを行い、1.7億円の工事費削減が出来ました。

二つ目は開館後の運営費の圧縮です。

将来の負担を軽くするため、当初見込んでいた年間1.4億円の赤字採算を見直しました。人件費を見直しつつ企画展の開催等で入場料収入増を見込み、現在の試算では年間の赤字が1億円になりました。

三つ目は寄付金についてです。

工事費に対する墨田区の負担が7~8億円あり、それを減らすべきではないかという声があります。墨田区ゆかりの北斎を顕彰する施設であることと、美術館を軸にまちづくりをすることによりまちが活性化するので、企業や区内外の方々の寄付をお願いすることにしました。新宿区では夏目漱石の記念館建設計画に2億円の寄付を集める計画があり、墨田区は5億を目指しました。現在まで区内の企業17社を自ら訪問し、地域への貢献として寄付をお願いをしている最中です。7月初めには皆様に寄付のお願いをお知らせする予定です。また、コミュニティ懇談会にも出席し、そこでお会いする住民の方々へも寄付のご協力をお願いしています。

おかげさまで入札が落札となり、議会での議決を経れば7月以降、地域の皆様へ工事説明会を行い、着工という流れになります。

長いこと紆余曲折がありましたが、ここへきて美術館開館へと前進を致しました。皆様方には今後も引き続きご支援ご協力をお願い致します。

最後に一点あり、当初は工事全体で38億円を予算計上していましたが、先ほど申した内装工事費削減や土壌汚染対策費確定、入札の予定額との差額により、現在は34億円くらいで収まる見通しになっています。

(亀四住民から)

工事金額の内訳が分かりづらいので、具体的にいくらか教えて欲しいです。区報など公の媒体で広く区民に対してお知らせしてもらいたいです。

(山崎区長)

議決がなされていないので未だ詳細は公表していませんが、決定次第、様々な媒体で公表致します。

(萩原営繕課長)

現在仮契約状態ですが、建築工事が地中障害の撤去と汚染土壌の処分を含めて約22億1千万円、空調設備工事が約2億7千万円、電気設備工事が約2億6千万円となります。他に給排水・エレベーター工事として7月1日に入札予定です。

(山崎区長)

また、館内の展示工事については、仮契約で約5億3千万円となっております。諸々合わせると先ほど述べた34億円程度となりますが、決定した段階で改めてお知らせ致します。

(まちづくりの会メンバーから)

先ほど話に出た土壌汚染について、どのような対応をされるかということと、今後はそのような不安が無いかということをお話していただけますか。

(萩原営繕課長)

土壌汚染については敷地北東部に鉛、北西部にフッ素が検出されています。埋蔵文化財の調査をした際に地面を3mほど掘りましたが、汚染物があまり検出されませんでした。ただ、それ以深ではフッ素が検出されているようです。今回の工事範囲となる地中7mの深さまでは土壌を全て入れ替えます。

(山崎区長)

経験則からいくと、どこを掘っても何かは出てくることもあります。美術館は公共のものであるので、皆様が安心出来るようにしっかり対応致します。

(亀三住民から)

入館料はどのくらいになりますか？いくらにしても運営費は赤字になると思われませんが。

(山崎区長)

運営費の赤字圧縮のために入館料を見直しています。様々な企画展をやることにより来館者数を増やしつつ人件費を圧縮し、現在の試算では年間1億円の赤字を見込んでいますが、引き続き運営費を抑える方向で努力します。

また、北斎美術館をつくれればそれで良いというわけではなく、美術館を基点として亀沢のまちづくり、例えば北斎通りや緑町公園についても改めて整備したいと思っています。北斎通りはにぎやかさを持たせるため地区計画をかけていますが、結果的にマンションが林立する状況になっており、1階部分にお店が出来ていないため空いているところが多いです。にぎやかな通りになるようにできないか地域の皆様と相談し、美術館が出来た際には多くの人にまちなみを楽しんでもらうということも大切なことだと思います。何か良いアイデアがあればお聞かせ願います。

(亀四住民から)

美術館建設地の南側に架空電線が走っていますが、違和感がありますか？

(萩原営繕課長)

美術館ということで建物内部に対して日光を遮る必要があり、南側に開口部はあまり設けていません。

(亀四住民から)

立派な建物の前に電柱や電線があるのは、外観として違和感があります。見た目にも良くないので、

今のうちから景観を考えたほうが良いと思います。

(山崎区長)

清澄通りのような大通りならば電力会社は電線地中化を推進しますが、地中化をする際に多大な費用がかかるということがあり、中に入った通りまではなかなか手が回りません。ただ、東京オリンピック競技会場付近は都が半額負担を負担することにより電線地中化を推進しています。国技館がボクシング会場となっており、両国駅周辺の地中化費用を試算してみたところ、20億円かかるということでした。半分を都が負担するにしても墨田区負担が10億円となり、金額的に高いので難しいところです。

(亀四住民から)

来館者数を増やすことについて、どのようなことを考えていますか？

(山崎区長)

まずは魅力ある作品を展示するに限ります。常設展示ばかりではリピーターが見込めないので、魅力ある企画展を計画していきたいです。国内外における北斎の資料を持った美術館と連携することも必要と思われれます。

(亀四住民から)

区民が普段着で入れるようなイメージを北斎美術館には持っており、おそらく自転車で来館する人も多いと思われれます。その際の駐輪場や、体の不自由な方が地方から車で来られる場合の駐車場をどこに設けるか、考えて欲しいです。

(山崎区長)

開館までに2年ほどあり、放置自転車がおかれないう駐輪場は民間を活用するなど、その間に駐輪や駐車スペースの問題を解決していきたいです。

(亀四住民から)

以前、家庭センターで行われた説明会の際、美術館脇のテニスコートに手をつけないという話がありましたが、美術館開館が見えてきた現在、駐輪や駐車スペースの問題解決を図るために前向きに考えてこれまでの方針を考え直しても良いのではないのでしょうか。

(山崎区長)

北斎美術館に関しては建設予定地移転も含め、25年間紆余曲折がありました。その間、皆様が色々なことを思われたり区側も話したりしてきて、それぞれの方々に色々な思い入れがあります。

(亀三住民から)

墨田区のコミュニティバスのネットワークを整備すれば、駐輪の問題は軽減されるのではないのでしょうか。駐輪台数を減らすための何かしらの手段が必要だと思われれます。

(山崎区長)

墨田区のコミュニティバスを走らせる際、観光目的で運行を考えています。美術館へのアクセスを考えた際、両国と錦糸町間の相互交通が望ましいのですが、それでは経費が大きくなり区の赤字が増えてしまうため、なかなか出来ません。いま錦糸町から両国駅に繋がるように運行経路の見直しを区で検討しておりますが、区のコミュニティバスは民間バス会社の運行エリアと重ならないような制度になっており、コミュニティバス経路を変えるのは簡単ではありません。

(まちづくりの会メンバーから)

今のお話では、野見宿禰神社から錦糸町方面へ行くコミュニティバスルートは期待出来なさそうです。

(山崎区長)

相互交通では財政負担が大きく、また、観光用を想定しているため、当面は一方向の運行となります。

(亀三住民から)

美術館脇のテニスコートやゲートボール場はどうなりますか？

(山崎区長)

いまのところ現状のままで考えています。

(亀三住民から)

残すのであれば、今のままでは立派な美術館と合わないでしょうから、整備したほうが良いのではないのでしょうか。

(山崎区長)

北斎通りや緑町公園も含めて景観の整備をする予定で、それと合わせて考えます。

(まちづくりの会メンバーから)

美術館脇に江川太郎左衛門の屋敷跡があります。江川太郎左衛門は北斎と活躍した時代が重なり、同時代に伊能忠敬などもあります。文化振興を考えれば、それらをまとめてアピールすれば、北斎通り以外にも面的な広がりが出てくるのではないのでしょうか。工事のフェンスを活用するなど、そのようなことを記すものがあると良いと思います。

(萩原営繕課長)

ゼネコンとの契約後、工事説明会を開催致しますが、予めゼネコンには今日の話伝えておきます。

(まちづくりの会メンバーから)

美術館近辺だけでなく、亀沢地区全体で史跡を整備すべきです。日本の近代化に関わった人達の多くが亀沢にゆかりがあり、歴史の掘り下げに繋がると思います。

(山崎区長)

東京駅前にあった「郵政博物館（旧逋信博物館）」がスカイツリーの中に移り、渋谷区より移転してくる「たばこと塩の博物館」が来年横川にオープンします。更に「刀剣博物館」が渋谷区より両国公会堂跡地に移転してくる計画があります。北斎美術館や江戸博を加えると、この辺りが美術館・博物館通りになってきて、多くの訪問客が回遊してくれるのではないかと期待しています。是非、亀沢地区の方々にもご協力いただき、地域の活性化に繋げていきたいと思ひます。

(まちづくりの会メンバーから)

先日、加山雄三がTV番組収録のため来て、北斎通りを「ヨーロッパ的な開放感のある通りだ」と言われました。そこで我々が強調したのは、北斎通りは電線が地中化されているだけでなく、ガードレールも無く開かれたまちとなっており、地域住民も綺麗なまち並みをつくらうとしているのだと話しました。美術館建設の際には、北斎ギャラリーや江川太郎左衛門や山岡鉄舟などの亀沢にゆかりのある人物を顕彰する史跡も整備してもらいたひです。

北斎通りまちづくりの会としては建替え調整協議会を発足し、色彩や緑化などについて事業主と協議する機会を設けています。美術館についても地域活性化のために地元住民と区が話し合ひながら建設を進めていって欲しいです。

(山崎区長)

北斎美術館は平成28年秋頃にオープン予定で、開館まで2年ほどあります。街路樹も大きくなりすぎてきましたが、景観等のことを地域の皆様のご意見を聞いて、再整備していきたくひと思ひますので宜しくお願ひ致します。

～～～山崎区長退席～～～

(まちづくりの会メンバーから)

北斎通りはガードレールが無く中央分離帯も無いのが特徴となっているので、今後も中央分離帯はつくらずにその特徴を残してもらいたひです。

(萩原営繕課長)

交通については警察の意見が大きひです。美術館が出来た際に来館者が多くなり、横断歩道がないところで横断する人が出てきたり、事故が多発するようだと警察も何らかの対応をせざるを得ないのではないかと思ひます。この話は後日、土木課に伝えておきます。

(まちづくりの会メンバーから)

中央分離帯があるとまちが分断されるので、なるべく今のままでいきたいです。

(文化振興課から)

東京都は片側二車線の場合に中央分離帯を設置することが多く、北斎通りに中央分離帯を設けることはあまり無いのではないかと思ひます。

(亀三住民から)

本所七不思議の一つである「消えずの行灯」の舞台が亀沢3丁目です。それも北斎通りを盛り上げる話の種の一つになるのではないのでしょうか。

(亀四住民から)

良い美術館を建てれば、色々な人が興味を持ってくれると思います。美術館に自分の所有する美術品を寄付するなどの協力をしてくれる人が現れるような体制を整えたいです。あとは駐輪場や駐車場を上手く確保して欲しいです。いまのうちから調整していかないと、開館までの2年はあっという間に過ぎてしまいます。

(鹿島田参事)

区としても美術館をサポートしていく人が増えるような雰囲気をつくっていかないといけないと思います。

(亀三住民から)

総武線のガード下で駐車場になっているスペースがありますが、そこを駐輪場にすることも検討してみてもどうでしょうか。

(鹿島田参事)

これまでは建物が建つかどうか分からない状況だったので、そういったことに関しては意見交換出来ませんでした。順調にいけば7月中旬に工事説明会が出来ると思います。各関係者がいるので簡単にはいかないと思いますが、諸問題に関して話し合う時間を設けたいと思います。

(まちづくりの会メンバーから)

子育てをしている保護者としての立場からのお願いですが、工事中も建物完成後も、緑町公園および周辺にて子どもたちが安心して遊べるよう、安全の確保をお願いします。

(鹿島田参事)

工事が始まりましたら、今ご心配されていることに対して説明しなければいけないと思います。合わせて、公園の遊具のことや子どもたちの遊び場について現状のままで良いのかということを経営者の皆様と話し合う場を設けたいと思います。ただ、かつて建設予定地が移った際に地域の皆様と話し合った内容もありますので、それらも踏まえた議論をしなければいけないと思います。

(亀四住民から)

美術館敷地が1250㎡くらいで美術館の建築面積が700㎡ほどだと、建物周囲に500㎡ほどのスペースが出来るはずですが、このスペースを緑町公園と一体と考えれば、公園が500㎡広がるというような考えが出来ると思います。以前行われた家庭センターでの説明会では美術館と公園の間に植え込みや塀をつくる意見もあったと思いますが、むしろ公園と美術館を一体として考え、子どもたちが自由に出入り出来るようにしたほうが、ガードレールや柵の無い開放的な現状の緑町公園がより生きてくると思います。

(鹿島田参事)

建設地移転時の話し合いのなかで、緑町公園にはあまり手をつけないという話がありました。美術館への動線などで対立するご意見があるなかで、双方が良くなる着地点を見いだしていかないと地域コミュニティが崩れかねないので、よくよく話し合いをしていく必要があると思います。

(まちづくりの会メンバーから)

美術館を取り上げた TBS の番組の中で「北斎の絵は江戸博で展示したほうが良いのではないか」という意見がありましたが、北斎美術館建設の意義をもっと分かりやすく説明することを考えたほうが良いと思います。

(鹿島田参事)

私もあの番組に少しだけ出ました。実は収録は1時間以上行い美術館について色々と説明しましたが、あのような編集をされています。本日お集まりの皆様の中にテレビ局の関係者がいたら申し訳ないですが、やはり制作者側の意図が反映される内容な気がします。江戸博との違いとしては、墨田区だから出来る北斎美術館ということで、地域の活性化だけでなく、子どもたちや北斎通りをどうするのかという問題に落とし込んで考えていかなければいけないと思います。話だけではなかなか伝わらないところがあり、これからの動きとしてどうなっていくか、例えば子どもたちが家に帰って「今日は北斎のことを勉強したよ」とか「緑町公園に美術館があって嬉しいな」というような、抽象的ですが行政が地域住民と一緒に、ここだからこそ出来る美術館であるという、江戸博では得られない考えかたを打ち出していく必要があると考えています。

(まちづくりの会メンバーから)

美術館の運営について、地元としてどういったことが出来るでしょうか？先ほど話があった寄付という関わりかたがある一方で、ボランティアで美術館に関わるというやり方もあります。今は北斎通りまちづくりの会がありますが、例えばそれとは別の組織を設けて美術館の運営と関わることも良いのか、そういったことをご相談したいです。

(鹿島田参事)

美術館の管理運営の核となる部分については、学芸員であったり、企画研究される専門の方が行うと思います。それに加えて地域の方々との連携を深めていく必要があります、オフィシャルサポーターを募集するような仕組みづくりを進めていきたいと思っています。ただ、今の段階では管理運営者が決まっておらず、美術館から外に向けて何が出来るかといったことについても決まっていません。地域の方々からの協力については、組織づくりというより今やられていることを美術館とどのように繋げていけるかということを考えていただいたほうが良いと思います。

(亀四住民から)

以前、設計者を交えて建築計画の話をしたという意見がありましたが、あの時の説明通りの建物が出来るのでしょうか？

(萩原営繕課長)

構造的な部分を変えていませんので、見られた図面通りと思われて宜しいかと思っています。



(亀四住民から)

以前の説明時に「誰でもトイレ」の位置がおかしいのではないかという話をしました。

(鹿島田参事)

プロポーザルで設計者が決まった時点に比べると、浮世絵を展示するためや震災による設計変更があり、少しずつ変わってきている事実があります。あの限られた敷地範囲で建物を建てると、つくりが気になる部分が出てくるかもしれませんが、そういったことについても説明する機会を設けなければいけないと思います。

(亀四住民から)

利用者目線を超えて設計者の意志で設計してしまう場合は、使い勝手が悪い場合が多いです。最後の詰めの際、利用者の生の声を聞くべきではないかと思います。

(鹿島田参事)

ただ、設計が既に固まっているので、配置の変更は出来ないかと思われます。

(亀四住民から)

入口の位置を変えるとか、細部の変更は出来るのではないのでしょうか。

(鹿島田参事)

かなり設計が固まった状態なので、そのなかで工夫するしかないかもしれません。

(亀一住民から)

寄付を集めるのは区内だけではなく区外からもお願いしてはどうでしょうか。北斎の名前は海外にも届くほどですが。

(鹿島田参事)

寄付の計画については、まずは区内の事業者にご理解いただき、足固めをしたいと思っています。そのうえで開館まで2年半ほどあるので、その間に美術関係の方々や世界の北斎ファンに寄付を募るよう、現在計画を立てている段階です。また、寄付をしやすくするような仕組みも順次設けていきたいです。

(北斎通りまちづくりの会 小林会長)

区長は去年の10月と今日お越しいただきましたが、今後も区長や鹿島田さんと地元の方々とでこのような会を設けていただきたいです。今後美術館の建設が進めば今日来られなかった方々も話し合いに参加され、より有意義な話し合いが出来ると思いますので、是非ご検討をお願いします。

(鹿島田参事)

建設工事に関しては萩原、美術館開設に関しては私が担当しておりますので、区長に成り代わってお話することは可能かと思えます。議論をするタイミングについては皆様と相談をして、是非進

めさせていただきます。

(進行から)

そろそろ予定時間となりました。以上を持ちまして閉会させていただきます。

以上